

氏名	清水 英治
研修先機関名	Cleveland Clinic, OH
<p>Bariatric/metabolic surgeryという日本ではまだ馴染みのない分野の勉強のため、Cleveland Clinicへきて、早くも5ヶ月が経過しようとしております。私のプログラムは2年間で、最初はリサーチ、次にクリニカルトレーニングを行うというアメリカの中でも数少ないフェローシップの1つです。</p> <p>アメリカでの生活、病院勤務となれないことが続き、最初のうちはうまく活動できていませんでしたが、徐々に慣れてきて、今を迎えております。よく友人にHow are you?と聞くと、I am still surviving.と笑いながら返事が来ますが、まさにその心境のようだったと思います。</p> <p>主にリサーチ活動に従事した5ヶ月ですが、とても充実しております。来年2012年に行われる主要な学会に向けての演題作りとして、animal studyからclinical studyまで幅広く手がけることができ、関わったプロジェクトは10以上を数えました。規模の大きな病院であるため、その仕事もかなり細分化されており、日本との違いにだいぶ戸惑いもありましたが、仕事をこなしていくうちに徐々に理解できているように思います。週一度行われる定期ミーティングだけでなく、他部署にまたがって行われるミーティングに参加し、自分の活動を広げることで、様々な分野の友人も増え、たくさんの刺激を受けることができます。</p> <p>アメリカでの生活は思っていた以上に楽しいものです。日本とは違った文化体験、友人との触れ合いから得られる経験、食文化など言葉では説明できない貴重な日々をすごしていると実感しております。</p> <p>アメリカへの移動、生活の立ち上げという段階にて、日米医学交流財団より頂いた助成金には大変助けられました。この場をかりてお礼申し上げます。</p>	